

松本 一郎編（獨協大学名誉教授）

## 二・二六事件裁判原本資料 全2巻

# 二・二六事件判決書綴 二・二六事件訴訟記録目録

東京陸軍軍法会議

体裁 一頁四面付・B5判・上製クロス装・ケース入り  
定価 本体36000円＋税（分売不可）  
刊行 平成24年3月刊 ISBN978-4-89774-317-2 C3331

### ▼二・二六事件の概要

昭和二年（一九三六年）二月二六日に起きた、いわゆる二・二六事件は、わが国で起こった唯一のクーデター事件であった。しかし、一五〇〇人もの兵士を動員して高橋大蔵大臣などを殺害し、首相官邸、警視庁、陸軍省など日本の心臓部一帯を占拠して政治改革を迫ったこの事件は、わずか数日後に鎮圧された。

参加者を待っていたのは、厳しい処罰であった。非公開・弁護人抜き・一審限りの東京陸軍軍法会議という軍事裁判によって、首謀者はもちろんのこと、指揮者の多くが死刑を宣告され、その一週間後には執行された。

この事件は、昭和史におけるエポック・メイキングな出来事であった。肅軍の名の下に事件関係者を弾圧した陸軍上層部は、この事件を奇貨として露骨に政治に介入するようになり、いわゆる軍事ファッショ体制を確立するに至ったからである。この意味では、この事件は、日本の敗戦という近代史最大の出来事と因果の関係にあるといえよう。

### ▼関連図書

『陸軍軍法会議判例集 全4巻』 松本一郎編 本体90000円

### ▼近刊図書

『二・二六事件内務省関係資料（仮称）』 松本一郎編

### ▼本資料の内容と刊行の意義

今回刊行する「判決書綴」・「訴訟記録目録」は、東京地方検察庁が保管する「原本」の「コピー版である」。

「訴訟記録目録」は、今回初めて公開する資料である。

「訴訟記録目録」は、二・二六事件訴訟記録原本（全八巻及び別冊）の内、五三巻までの各記録目録を収録した。（五四巻以降は不起訴処分者の記録）

本資料は、頁数を抑えるために、一頁に四面付とした。

二・二六事件は昭和史のある流れを方向づけた事件であり、全容を知りたいと思う国民も少なくない。（略）記録はこの意味で昭和史の共有財産である。（略）一日も早く正式裁判記録全体が公開・公刊され」（伊藤隆・北博昭編『新訂二・二六事件 判決と証拠』）とあるように、今回の刊行は久しく待望されていたものである。

2巻巻末に「解説」を収録した。

### 緑蔭書房

〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-13-1  
☎ 03 (3579) 5444  
[消費税が別途加算されます]

取扱書店

## 二・二六事件裁判原本資料 全2巻

松本 一郎編

今から七六年前の二月二六日早朝、「昭和維新」を旗印に青年将校が約一五〇〇名の兵士を率いて蹶起。斉藤実内大臣、高橋是清蔵相、渡辺錠太郎教育総監、鈴木貫太郎侍従長等十数名を死傷させ、首都の中枢部（首相官邸・陸軍省・参謀本部・警視庁・議事堂等）を四日間占拠した。日本唯一のクーデター事件である。その後、日本は戦争への道を歩み始める…。このたび、この事件の全体像を把握する上で不可欠な第一級一次史料である『判決書綴』『訴訟記録目録』の原本を公開する。これにより、初めて「原本」による二・二六事件研究が可能となった。今後の研究が進展することを期待したい。

# 二・二六事件判決書綴 二・二六事件訴訟記録目録

東京陸軍軍法会議

緑蔭書房

## 二・二六事件裁判「原本」公刊にあたって

松本一郎  
(獨協大学名誉教授)

(獨協大學名譽教授)

本書に収録した東京陸軍軍法会議「判決書綴」と「訴訟記録目録」の底本は、現在も東京地方検察庁に保存されている原本のコピーであり、編者が親しく指導を受けた元陸軍法務大尉・弁護士原秀男氏の没後に、同氏の遺族から譲り受けたものである。

原氏がコピーを所持していたのは、平成三年五月、同氏が法務省刑事局から本記録公開の妥当性等について検討を委託されたことによる。同氏は、一年をかけて検討の結果、同四年六月八日、全八六頁に及ぶ「調査報告書」を提出された。それによると、本記録は刑事確定訴訟記録法九条にいう刑事参考記録の性質を超えて、重要な日本近代史の歴史資料であるから、被害者の遺体写真など残酷感のあるものや、被告人の個人情報（身元調書、考課表等）などを除き、全面公開が望ましいとある。法務省は、この意見を踏まえて本記録の公開に踏み切った。

判決書の内容については、すでに伊藤隆・北博昭両氏編集の『二・二六事件 判決と証拠』（一九九五年・朝日新聞社）が世に出ている。これは、記録を丹念に筆写したものであるが、人力の及ぶところには限界があり、各所に誤字・脱字等が散見される。したがって、今回の一次資料そのものの公刊は意義あるものと考ええる。

また、「訴訟記録目録」は、今回初めて公刊される資料であり、研究者の検索に役立つであろう。

内容見本（判決書綴）

七號同第二一號同第三三號同第四一號  
同第四三號同第五〇號同第六九號同第  
七二號同第七六號同第八四號同第二〇  
八號同第二八九號同第二九〇號昭和十  
一年押第二九號ノ三ハ之ヲ沒收ス

理 由

被告入村中孝次磯部茂一香田清真安藤  
輝三栗原安秀對馬勝雄中橋基明等八夙  
ニ陸軍士官學校ニ學ビ爾來深ク盡忠報  
國ノ志ヲ固ムル所アリニ力繰ツテ四圍  
ノ環境ヲ顧ミ痛ク世相ノ頹廢人心ノ輕  
桃ヲ慨ニ轉テ國家ノ前途ニ憂心ヲ覺エ

内容見本  
(訴訟記録目録)

[illegible]

内容見本（訴訟記録目録）

文	書	目	標	丁	數	備	考
證人訊問詞書	第四回	同	第四回	同	同	同	同
被告訊問詞書	第一回	同	第一回	同	同	同	同
原告終了直犯	同	同	同	同	同	同	同
年終調	同	同	同	同	同	同	同
嚴密終了報告	同	同	同	同	同	同	同
意見書	同	同	同	同	同	同	同
公訴提起命令	同	同	同	同	同	同	同
公訴狀	同	同	同	同	同	同	同
兵籍寫	同	同	同	同	同	同	同
被告人手記	同	同	同	同	同	同	同
裁判官命令	同	同	同	同	同	同	同

## ▼「判決書綴」収録内容

昭和十一年判決原本目録（東京陸軍軍法會議）

九 齊藤瀏

- 一 香山清員／安藤輝三／竹島繼夫／対馬勝雄／栗原安秀／中橋基明／丹生誠忠／坂井直／田中勝／中島莞爾／安田優／高橋太郎／麦屋清治／常盤稔／林八郎／今泉義道／鈴木金次郎／清原康平／池田俊彦／山本又／村中孝次／磯部浅一／  
二 松平紹光／宮浦修三／柴有時

- 二 新正雄／窪川保雄／内田一郎／梶間増治／木部正義／林武／高岡庄之助／丸岩雄／渡辺清作／蛭田正夫／小原竹次郎／青木銀次／長瀬一／北島弘 藤倉勘市／山本清安／神田稔／野村常吉／穴倉正太郎 関根武雄／桑原雄三郎／堀宗一／田島桑次／関根安司／安川良三／堀口秀暉／富田正三／藺田長太郎／遠藤孟雄／斎藤太郎／吉原誠／福原若男／井沢正治／伊高花吉／新井維平／大森丑蔵／井戸川富治／福島理本／立石利三郎／鳥羽徹雄
- 三 大江昭雄／斉藤一郎／箕輪三郎／宗形安／神谷光／豊岡久男 前田仲吉／横川元次郎／高橋元／中村伊三郎 坂本静／河内礼雄／青木武／水沢益／青木典保／新井長三郎／三沢万吉／栗田良作／倉光達雄／三五恒治／新井崇治／伊藤尚平／尾島健次郎 永田露／堂込喜市／渡辺春吉／門脇信夫／中村靖／奥山桑治／小河正義／大木作蔵／山田政男 相沢治案／山岸憲二郎
- 一八 石原広一郎
- 一七 松井龜太
- 一六 北村良一／西山敬九郎／浅沼慶太郎／辻正雄
- 一五 小川三郎／江藤五郎
- 一四 町田専蔵
- 一三 杉田省吾
- 一二 大蔵栄一／佐々木二郎／朝山小二郎
- 一一 北輝次郎／西田税／亀川哲也
- 一〇 中橋昭夫

- | 三三 真崎基三郎   |     |       |       | 職 軍      |      |
|------------|-----|-------|-------|----------|------|
| 昭和七年勅定原本目録 |     |       |       | 東京陸軍軍注會職 |      |
| 番          | 氏 名 | 階 級   | 氏 名   | 階 級      | 氏 名  |
| 一          | 友 龍 | 元歩少尉  | 番田清良  | 元歩大尉     | 安藤經三 |
| 同          | 同   | 元歩中尉  | 石田菊太郎 | 元歩大尉     | 竹富經大 |
| 同          | 同   | 元歩大尉  | 元豐泰教  | 元歩尉      | 村馬勝雄 |
| 同          | 同   | 同     | 元歩一校尉 | 同        | 栗原安秀 |
| 同          | 同   | 元歩一校尉 | 元歩一校尉 | 同        | 中鍋基明 |
| 同          | 同   | 元歩二中尉 | 元歩二中尉 | 同        | 丹生誠忠 |
| 同          | 同   | 元歩二中尉 | 元歩二中尉 | 同        | 坂井直  |
| 同          | 同   | 元歩中尉  | 元歩中尉  | 同        | 田中勝  |
| 同          | 同   | 元歩少尉  | 元歩少尉  | 同        | 中島亮角 |
| 同          | 同   | 元歩少尉  | 元歩少尉  | 同        | 安田優  |

## ▼「訴訟記録目録」収録内容

訴訟記録目録 全三十二冊

- 第一号「丁巻」(反乱者ヲ利ス)山口一太郎／柳下良二(司令官軍隊ヲ率テ故ナク配置)地ヲ離ル 新井勲

第二号「乙巻」(反乱者ヲ利ス)山口一太郎／柳下良二(司令官軍隊ヲ率テ故ナク配置)地ヲ離ル 新井勲

第三号「丙巻」(反乱)井上辰雄／鈴木五郎／塩田淑夫

第四号「丁巻」(反乱者ヲ利ス)田中満

第五号「戊巻」(反乱幫助)齊藤瀾

第六号「己巻」満井佐吉(反乱予備 宮本正之／越村捨次郎

第七号「庚巻」末松太平／志村陸城 外(反乱者ヲ利ス)片岡俊郎

第八号「辛巻」公判調書(反乱者ヲ利ス)末松太平／志村陸城 外

第九号「九巻」柴有事／松平昭光／宮浦修三 公判調書(反乱者ヲ利ス)柴有事／松平昭光／宮浦修三

第一〇号「一〇巻」福井幸／加藤春海／佐藤正三／宮本誠三

第一一号「一一巻」杉田省吾

第一二号「一二巻」(反乱幫助)町田專蔵

第一三号「一三巻」(反乱陰謀)小川三郎(反乱・反乱陰謀)江藤五郎

第一四号「一四巻」(反乱)北村良一／浅沼慶太郎／西山敬九郎 外

第一五号「一五巻」(反乱幫助)松井龜太

第一六号「一六巻」(反乱幫助)石原広一郎

第一七号「一七巻」(反乱予備陰謀)菅波三郎

第一八号「一八巻」(反乱)証人訊問調書等

第一九号「一九巻」菅波三郎／志岐孝人

第二〇号「二〇巻」大蔵栄一／佐々木二郎／朝山小二郎

第二一号「二一巻」朝山小二郎／佐々木二郎／大蔵栄一

第二二号「二二巻」大蔵栄一／佐々木二郎／朝山小二郎

第二三号「二三巻」北輝次郎

第二四号「二四巻」西田税

第二五号「二五巻」北輝次郎／西田税／亀川哲也

第二六号「二六巻」亀川哲也

第二七号「二七巻」中橋照夫

第二八号「二八巻」(欠)

第二九号「二九巻」真崎甚三郎

第三〇号「三〇巻」真崎甚三郎

第三一号「三一巻」真崎甚三郎

第三二号「三二巻」(記事目録欠)

**反乱行動隊訴訟記録目録 全 十九冊**

第一号「一巻」反乱 捜査報告・予審請求・公訴状等

第二号「二巻」反乱(身元調書 考科表写・戸籍抄本) 香田清貞 外

第三号「三巻」反乱(事件一関入ル照会 回答・通牒等) 香田清貞 外

第四号「四巻」反乱(検証調書) 香田清貞 外

第五号「五巻」反乱(上部工作関係) 香田清貞／村中孝次／磯部誠一

第七号「七巻」反乱(陸相官邸・侍従長官邸関係) 安藤輝三 外

第八号「八巻」反乱(齊藤邸・渡辺邸・警視庁関係) 坂井直 外

第九号「九巻」反乱(公判關係一) 香田清貞／安藤輝三 外

第一〇号「一〇巻」反乱(公判關係二) 香田清貞／安藤輝三 外

第一一号「一一巻」反乱(齊藤内府邸・渡辺大將邸関係) 新正雄 外

第一二号「一二巻」反乱(警視庁関係) 藤倉勘市／桑原雄三郎 外

第一三号「一三巻」反乱(公判關係) 新正雄／渡辺清作／藤倉勘市／桑原雄三郎／福原若男／立石利三郎 外

第一四・一五号合冊「一四巻」反乱(首相官邸・蔵相私邸関係) 羽生田進／尾島健次郎 外 反乱(陸相官邸関係) 板橋三郎 外

第一六・一七号合冊「一六巻」反乱(侍従長官邸関係) 永田露／上村盛満 外 反乱(公判關係) 大江昭雄／齊藤 郎／神谷光 外

第一八号「一八巻」反乱(湯河原關係全部) 河野壽／宇治野時参 外

第一九号「一九巻」反乱(憲兵訊問調書) 今野敏夫／小穴嘉明 外

第二〇号「二〇巻」反乱(憲兵訊問調書) 宮瑋雄／安本亮一 外

第二一号「二一巻」反乱(憲兵訊問調書) 澤田養春／茂木静雄 外

第二二・二三号合冊「二二巻」反乱(憲兵訊問調書) 吉野新太郎 外

第二四・二五・二六号合冊「二五巻」反乱(憲兵訊問調書) 高崎真古／依田虎雄／鈴木光三 外 反乱(憲兵訊問調書) 依田虎雄

反乱(憲兵訊問調書) 鈴木光三

第二七号「二七巻」反乱(檢察官聴取書)石川新次郎／小山市一 外

第二八・二九号合冊「二九巻」反乱(公訴提起者)対スル憲兵訊問調書

檢察官聴取書・予審調書 倉友有吉 外 反乱(公判關係) 倉友有吉／中島与兵衛 外

**第四号「三四巻」に関する検証調書**

一 内閣総理大臣官邸検証調書

二 侍従長官邸検証調書

三 高橋大蔵大臣私邸検証調書

四 斎藤内大臣私邸検証調書

五 渡辺教育総監私邸検証調書

六 朝日新聞社検証調書

七 警視庁検証調書

八 新議事堂検証調書

九 陸軍大臣官邸・陸軍省・参謀本部検証調書

一〇 華族会館検証調書

一一 幸案検証調書

一二 大蔵大臣官邸検証調書

一三 文部大臣官邸検証調書

一四 鉄道大臣官邸検証調書

一五 農林大臣官邸検証調書

一六 山王ホテル検証調書

一七 黒龍会宿泊所検証調書